

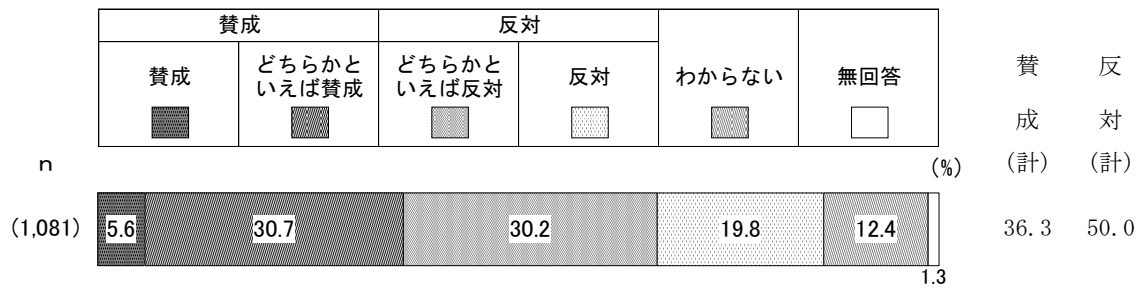
2. 男女平等に関する意識について

(1) 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について

◇「どちらかといえば反対」と「反対」を合わせた『反対（計）』は50.0%

問1. 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたの考えに近いものを選んでください。(1つだけに○)

図2-1

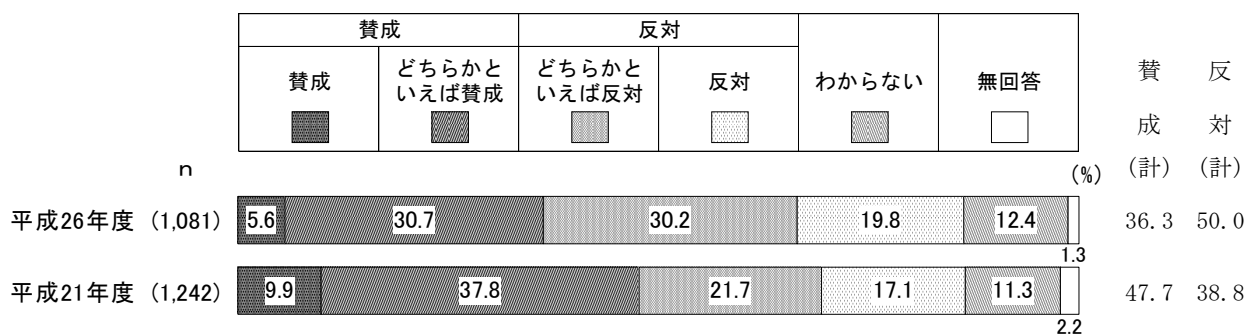


「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について聞いたところ、「賛成」(5.6%)と「どちらかといえば賛成」(30.7%)を合わせた『賛成(計)』は36.3%となっている。一方、「どちらかといえば反対」(30.2%)と「反対」(19.8%)を合わせた『反対(計)』は50.0%となっている。(図2-1)

経年比較をみると、『反対(計)』は平成21年度調査より11.2ポイント増加している。

(図2-2)

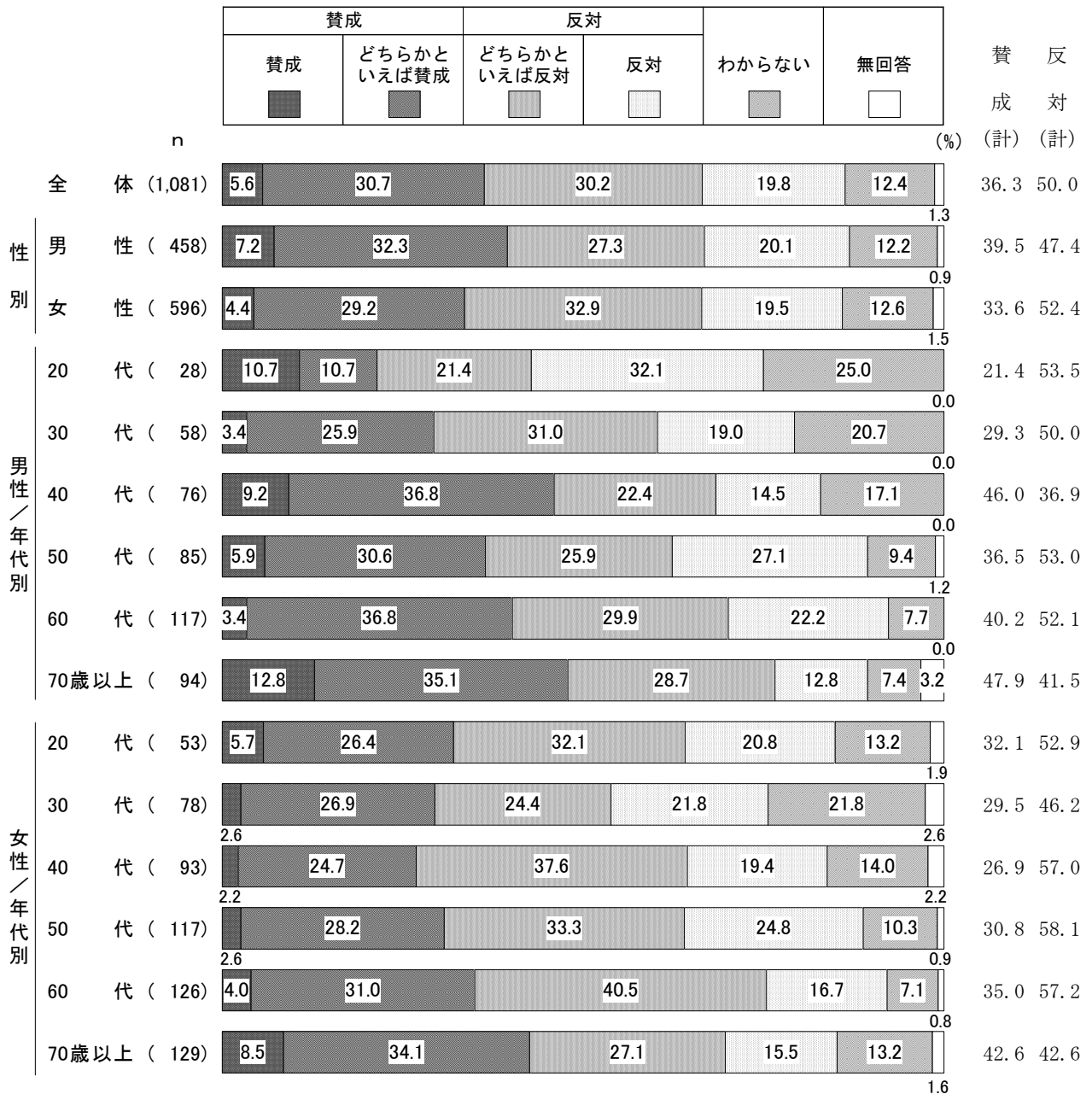
図2-2 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について(経年比較)



性別でみると、『賛成（計）』は男性（39.5%）が女性（33.6%）より5.9ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、『賛成（計）』は男性の40代（46.0%）と70歳以上（47.9%）で高くなっている。一方、『反対（計）』は女性の40代（57.0%）、50代（58.1%）、60代（57.2%）で高くなっている。（図2-3）

図2-3 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について（性・年代別）



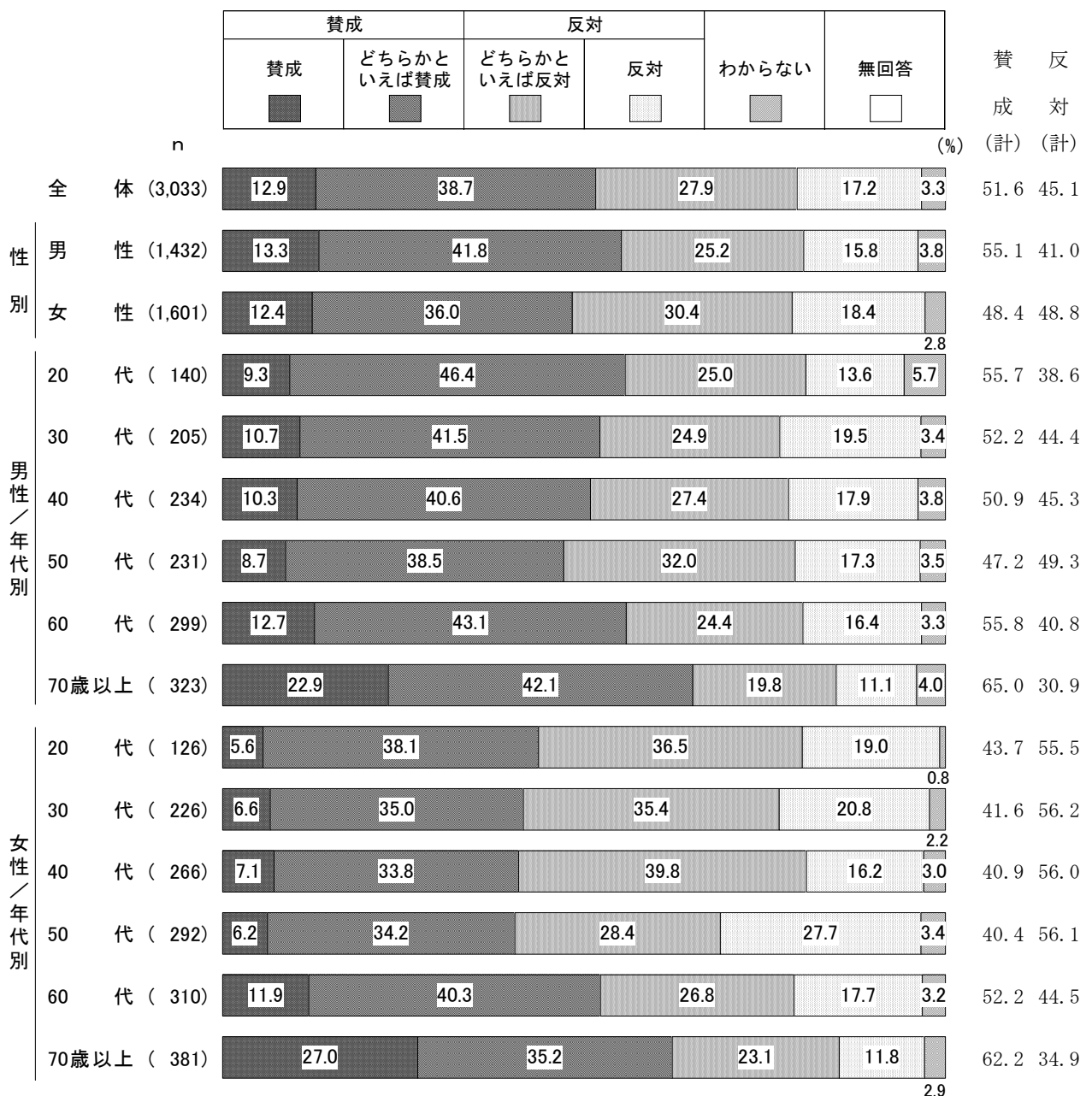
内閣府調査と比較すると、全体では、『賛成（計）』は栃木県調査（36.3%）が内閣府調査（51.6%）より15.3ポイント低くなっている。

性別でみると、『賛成（計）』は栃木県調査では、男性（39.5%）、女性（33.6%）となっており、内閣府調査の男性（55.1%）、女性（48.4%）よりそれぞれ15.6ポイント、14.8ポイント低くなっている。

性・年代別でみると、『賛成（計）』は栃木県調査では、すべての年代で内閣府調査より低くなっており、特に男性の20代（21.4%）と30代（29.3%）で、内閣府調査の20代（55.7%）と30代（52.2%）よりそれぞれ34.3ポイント、22.9ポイント低くなっている。（図2-4）

図2-4 「男は外で働き、女は家庭を守るべきである」という考え方について（内閣府調査との比較）

【内閣府調査】



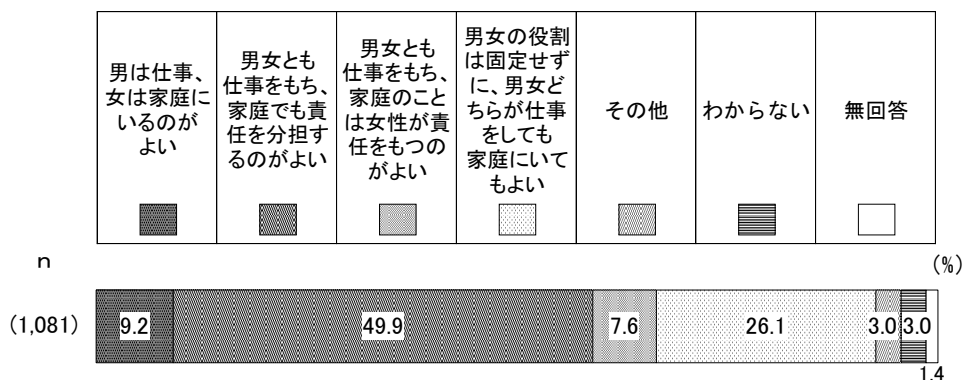
※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

(2) 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

◇「男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい」が49.9%

問2. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを選んでください。(1つだけに○)

図2-5



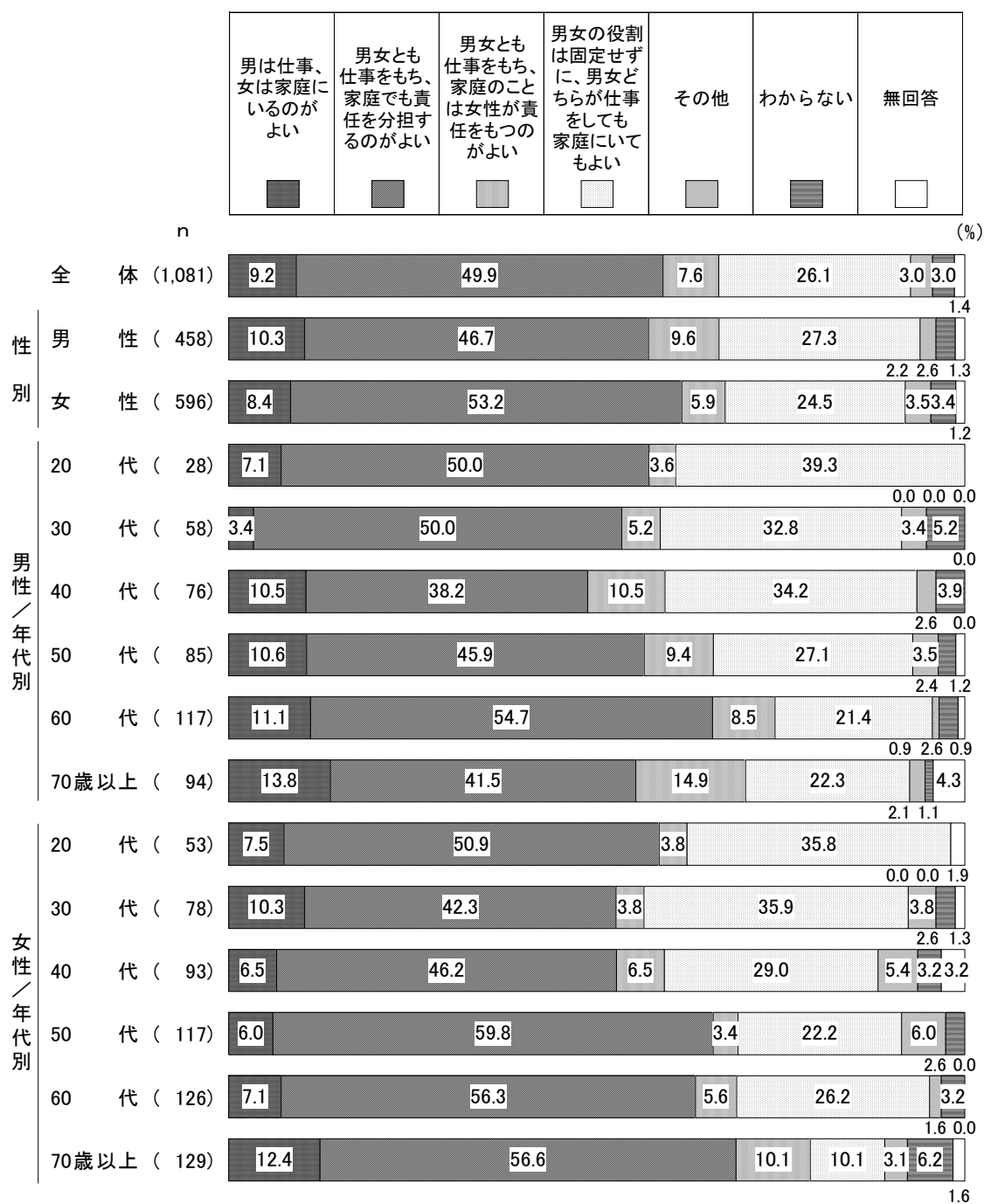
「男は仕事、女は家庭」という考え方について聞いたところ、「男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい」が49.9%で最も高く、次いで、「男女の役割は固定せず、男女どちらが仕事をしても家庭にいてもよい」(26.1%)、「男は仕事、女は家庭にいるのがよい」(9.2%)、「男女とも仕事を持ち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい」(7.6%)などの順となっている。

(図2-5)

性別でみると、「男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」は女性（53.2%）が男性（46.7%）より 6.5 ポイント高くなっている。一方、「男女とも仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい」は男性（9.6%）が女性（5.9%）より 3.7 ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「男女とも仕事をもち、家庭でも責任を分担するのがよい」は女性 50 代（59.8%）で高くなっている。また、「男女の役割は固定せず、男女どちらが仕事をしてても家庭にいてもよい」は男性 20 代（39.3%）で高く、「男女とも仕事をもち、家庭のことは女性が責任をもつのがよい」は男性 70 歳以上（14.9%）で高くなっている。（図 2-6）

図 2-6 「男は仕事、女は家庭」という考え方について（性・年代別）



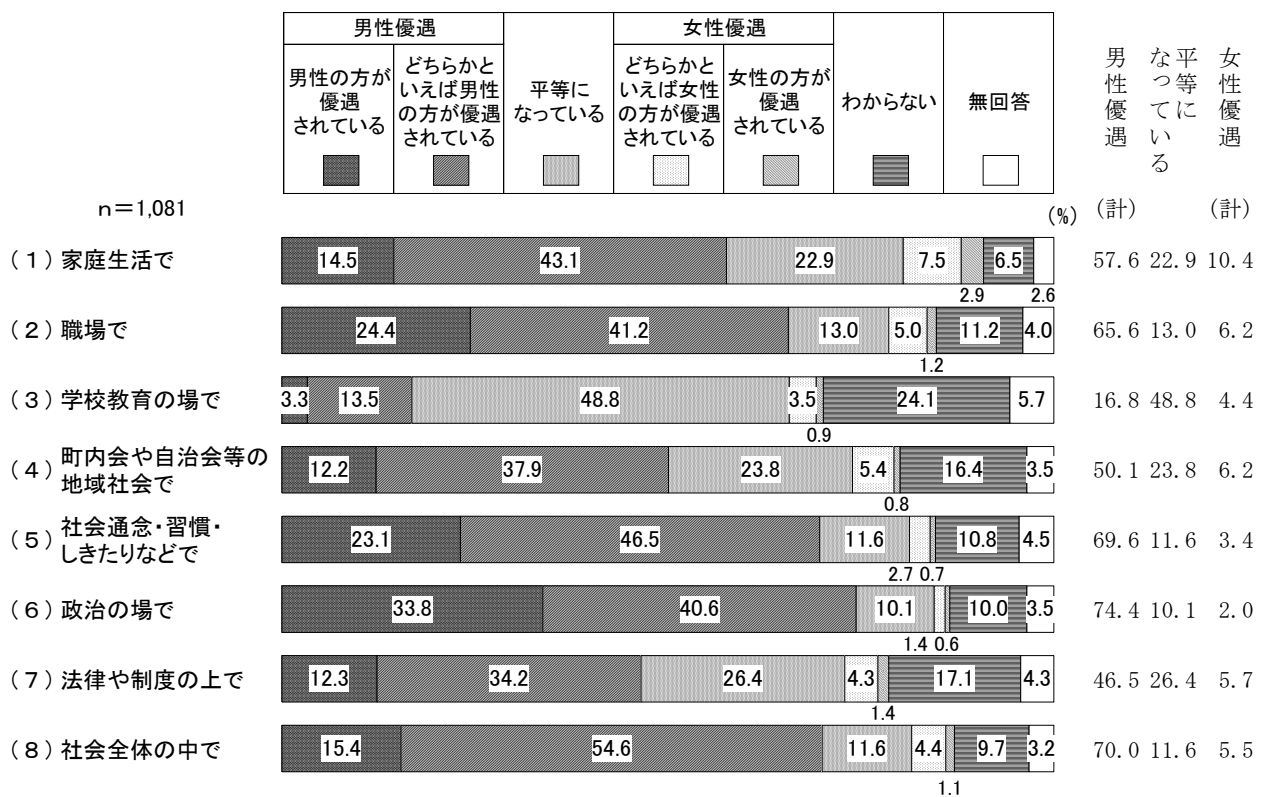
(3) 男女の地位の平等観

- ◇「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性優遇（計）』は“政治の場で”で74.4%
- ◇「平等になっている」は“学校教育の場で”で48.8%
- ◇「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」を合わせた『女性優遇（計）』は“家庭生活で”で10.4%

問3. あなたは、現在、男女の地位はどの程度平等になっていると思いますか。次の（1）～（8）のそれぞれについてあなたの考えに近いものを選んでください。

（それぞれ1つずつに○）

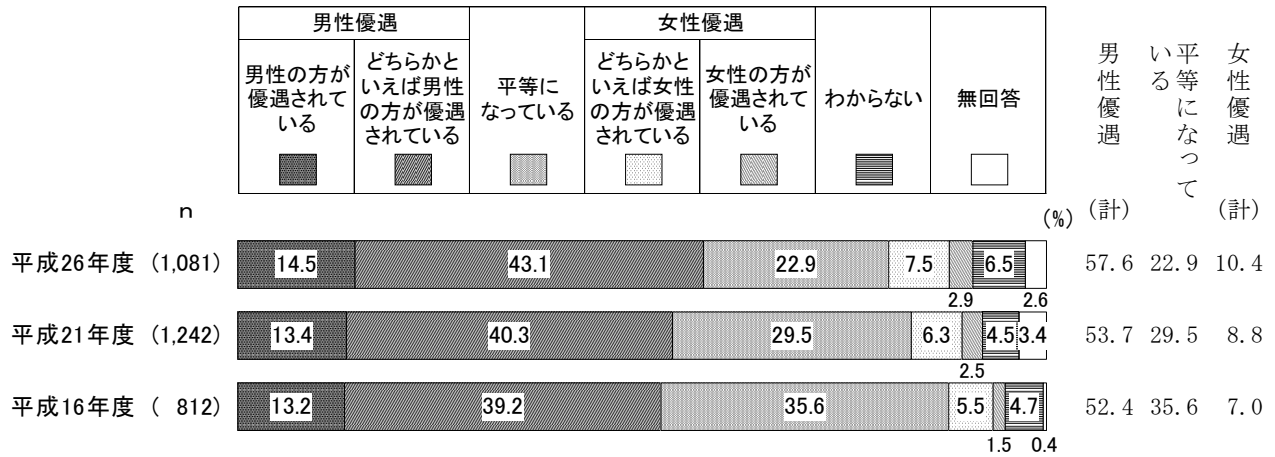
図2-7



男女の地位はどの程度平等になっているか聞いたところ、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性優遇（計）』は“政治の場で”で74.4%と最も高く、次いで、“社会全体の中で”（70.0%）、“社会通念・習慣・しきたりなどで”（69.6%）などの順となっている。また、「平等になっている」は“学校教育の場で”で48.8%と最も高く、次いで、“法律や制度の上で”（26.4%）、“町内会や自治会等の地域社会で”（23.8%）などの順となっている。一方、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」を合わせた『女性優遇（計）』は“家庭生活で”で10.4%と最も高くなっている。（図2-7）

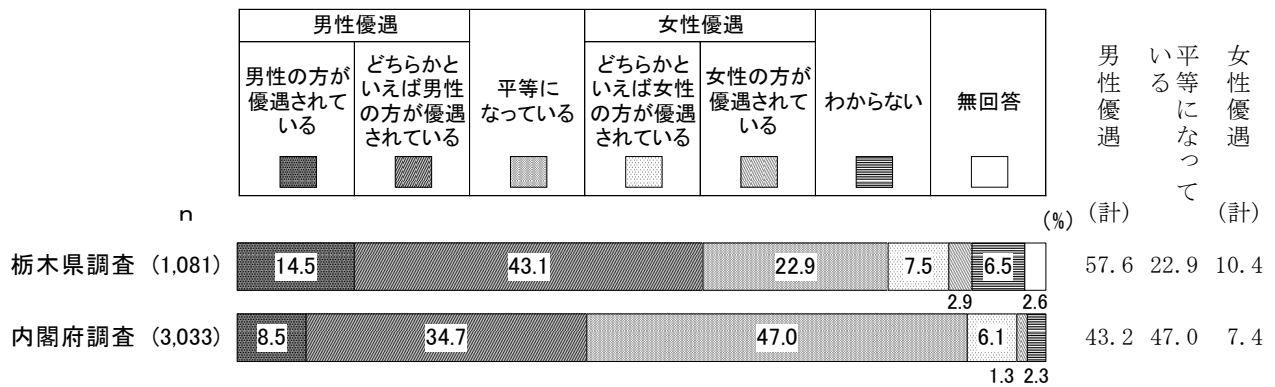
“家庭生活で”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』は平成16年度調査以降増加傾向にあり、今回調査では平成21年度調査より3.9ポイント増加している。（図2-8）

図2-8 男女の地位の平等観（経年比較）【（1）家庭生活で】



“家庭生活で”について内閣府調査と比較すると、『男性優遇（計）』は内閣府調査より14.4ポイント高く、「平等になっている」は内閣府調査より24.1ポイント低くなっている。（図2-9）

図2-9 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【（1）家庭生活で】

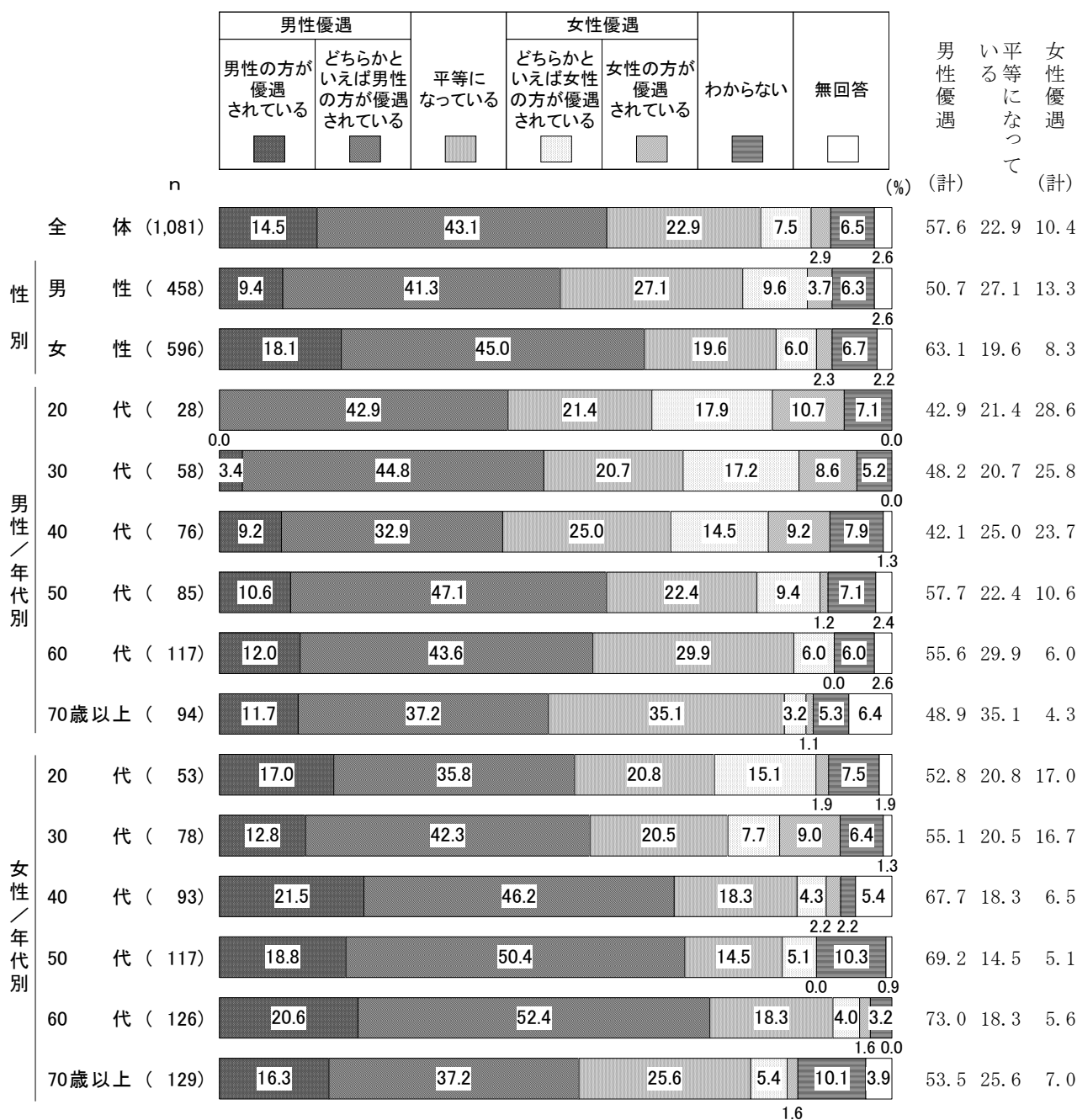


※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“家庭生活で”について性別で見ると、『男性優遇（計）』は女性（63.1%）が男性（50.7%）より12.4ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」は男性（27.1%）が女性（19.6%）より7.5ポイント高くなっている。

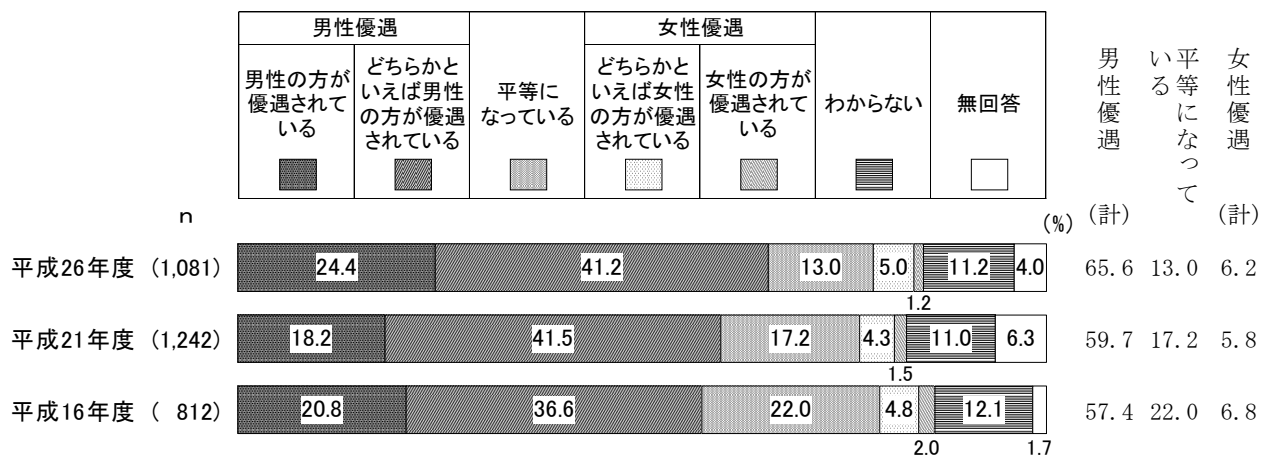
性・年代別で見ると、『男性優遇（計）』は女性の40代（67.7%）、50代（69.2%）、60代（73.0%）で高くなっている。「平等になっている」は男性の60代（29.9%）と70歳以上（35.1%）で高くなっている。『女性優遇（計）』は男性の20代（28.6%）、30代（25.8%）、40代（23.7%）で高くなっている。（図2-10）

図2-10 男女の地位の平等観（性・年代別）【（1）家庭生活で】



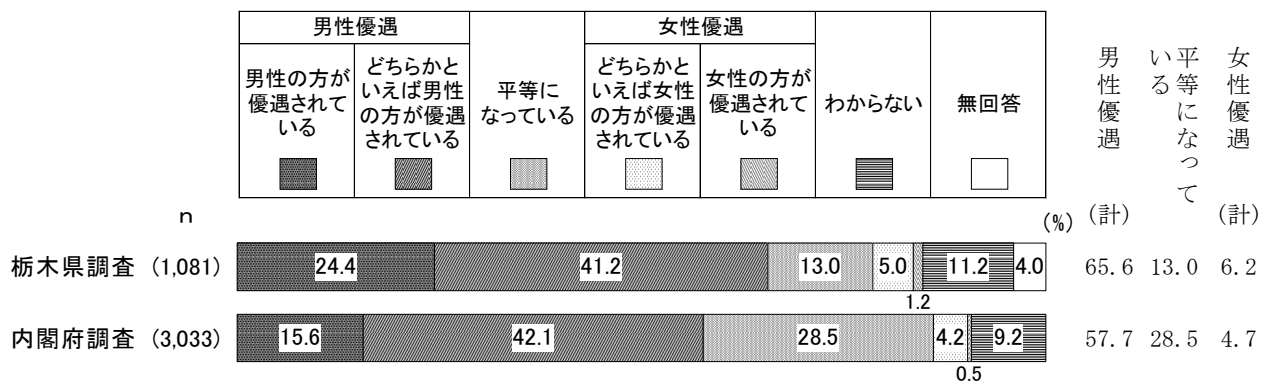
“職場で”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』は平成16年度調査以降増加傾向にあり、今回調査では平成21年度調査より5.9ポイント増加している。（図2-11）

図2-11 男女の地位の平等観（経年比較）【（2）職場で】



“職場で”について内閣府調査と比較すると、『男性優遇（計）』は内閣府調査より7.9ポイント高く、「平等になっている」は内閣府調査より15.5ポイント低くなっている。（図2-12）

図2-12 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【（2）職場で】

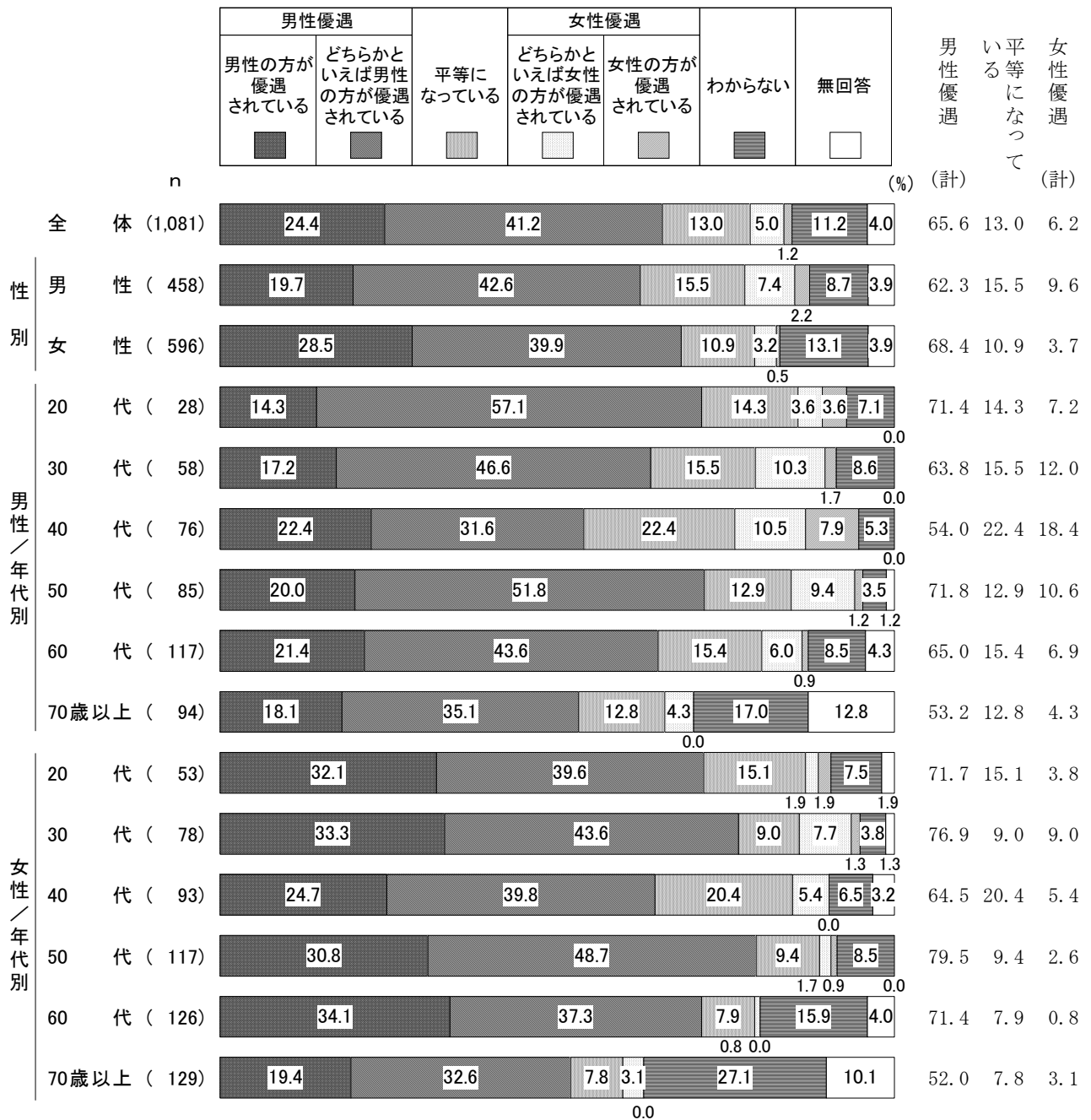


※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“職場で”について性別で見ると、『男性優遇（計）』は女性（68.4%）が男性（62.3%）より6.1ポイント高くなっている。一方、『女性優遇（計）』は男性（9.6%）が女性（3.7%）より5.9ポイント高くなっている。

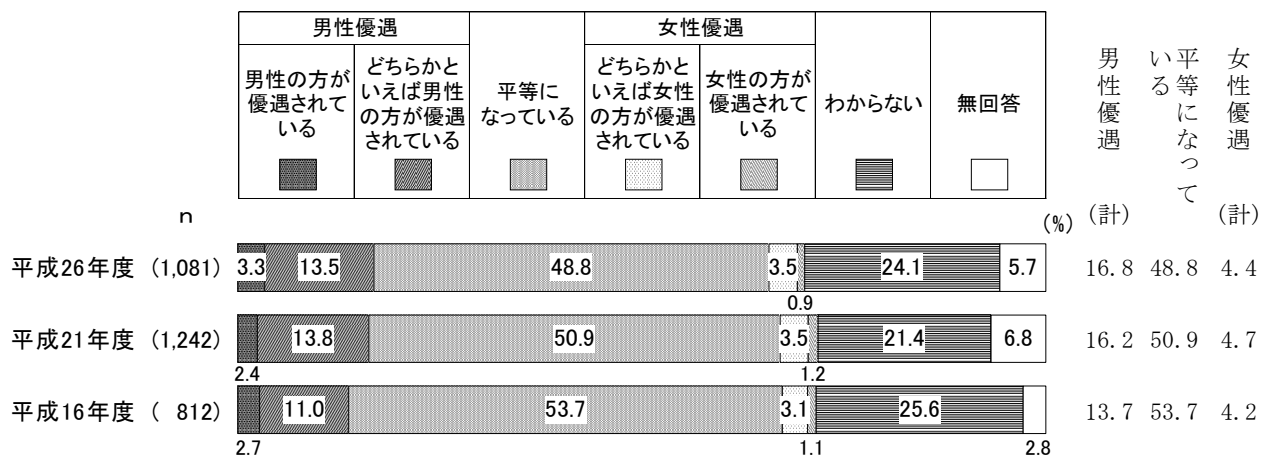
性・年代別で見ると、『男性優遇（計）』は女性の30代（76.9%）と50代（79.5%）で高くなっている。「平等になっている」は男女ともに40代（男性22.4%・女性20.4%）で高くなっている。『女性優遇（計）』は男性40代（18.4%）で高くなっている。（図2-13）

図2-13 男女の地位の平等観（性・年代別）【（2）職場で】



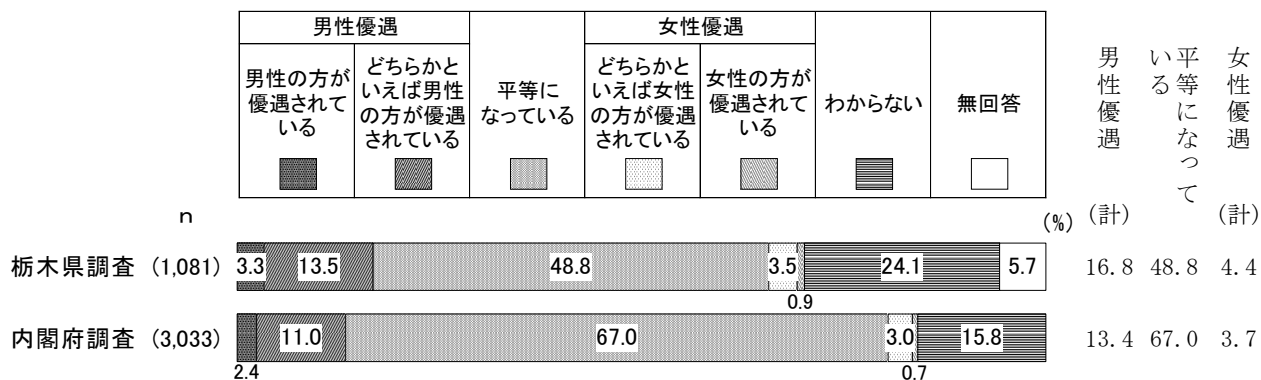
“学校教育の場で”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』は平成16年度調査以降増加傾向にあり、「平等になっている」は平成16年度調査以降減少傾向にある。（図2-14）

図2-14 男女の地位の平等観（経年比較）【(3) 学校教育の場で】



“学校教育の場で”について内閣府調査と比較すると、『男性優遇（計）』は内閣府調査より3.4ポイント高く、「平等になっている」は内閣府調査より18.2ポイント低くなっている。（図2-15）

図2-15 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【(3) 学校教育の場で】



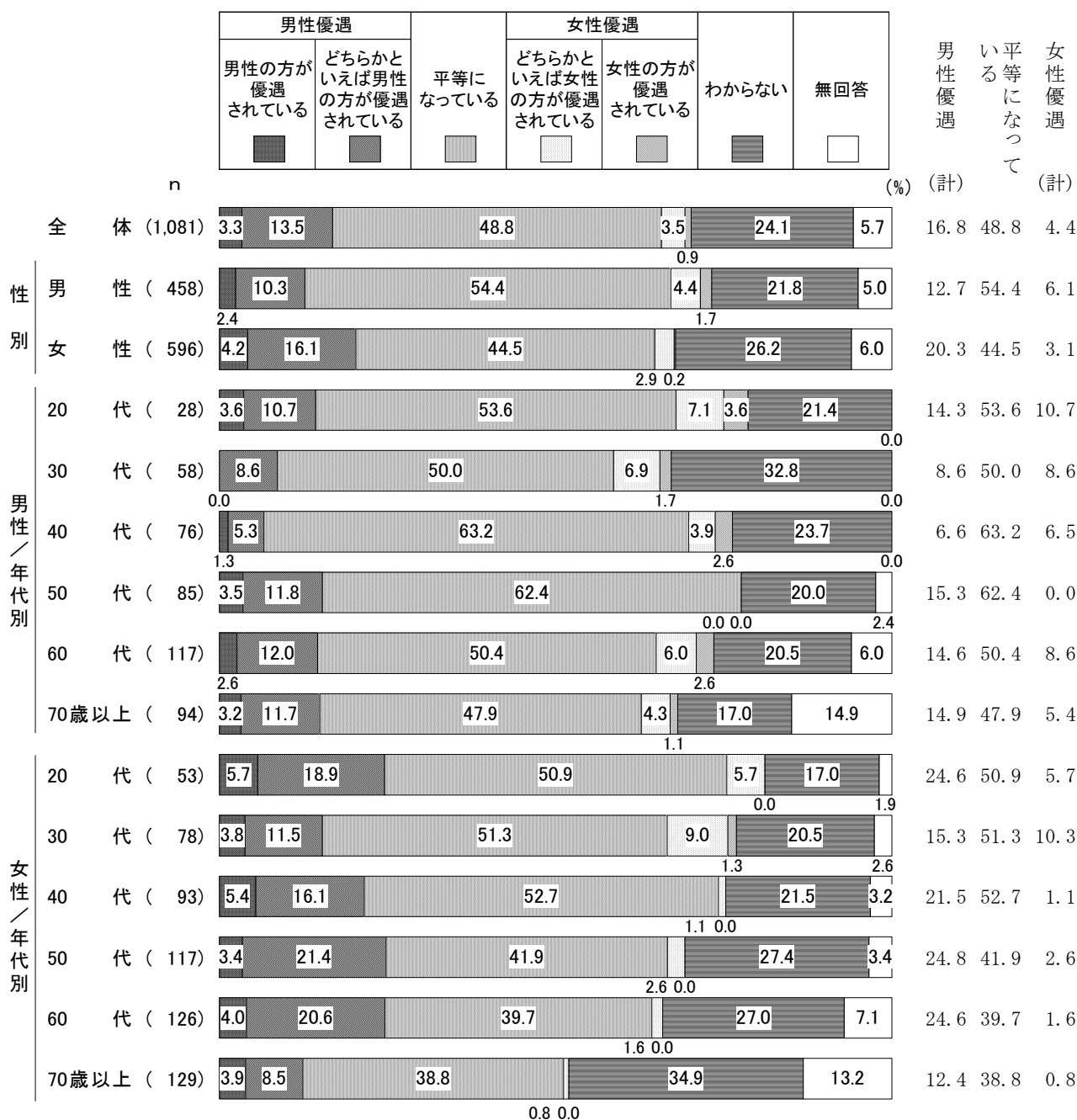
※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“学校教育の場で”について性別で見ると、「平等になっている」は男性(54.4%)が女性(44.5%)より9.9ポイント高くなっている。一方、『男性優遇(計)』は女性(20.3%)が男性(12.7%)より7.6ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『男性優遇(計)』は女性の20代(24.6%)、50代(24.8%)、60代(24.6%)で高くなっている。「平等になっている」は男性の40代(63.2%)と50代(62.4%)で高くなっている。『女性優遇(計)』は男性20代(10.7%)と女性30代(10.3%)で高くなっている。

(図2-16)

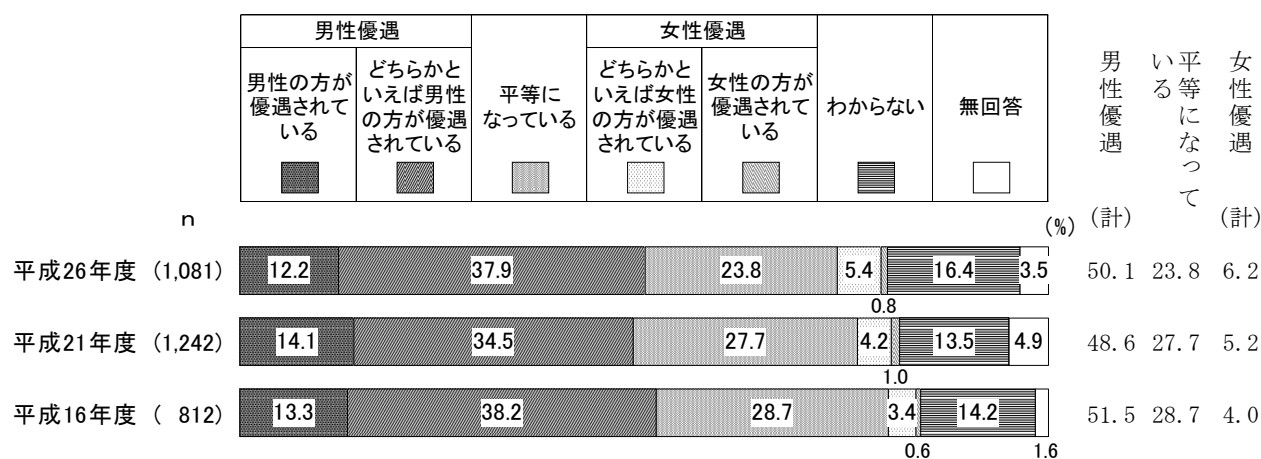
図2-16 男女の地位の平等観(性・年代別)【(3) 学校教育の場で】



“町内会や自治会等の地域社会で”について経年比較をみると、「平等になっている」は平成16年度調査以降減少傾向にあり、今回調査では平成21年度調査より3.9ポイント減少している。

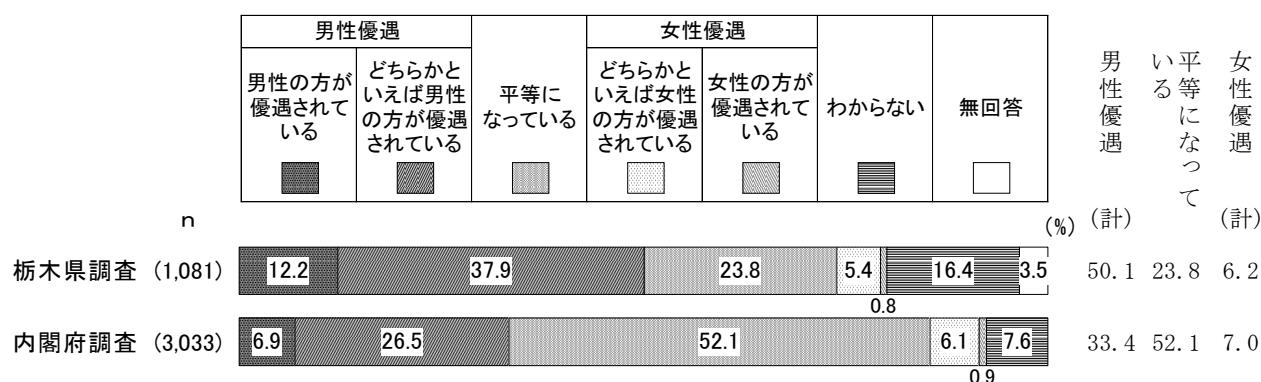
(図2-17)

図2-17 男女の地位の平等観（経年比較）【(4) 町内会や自治会等の地域社会で】



“町内会や自治会等の地域社会で”について内閣府調査と比較すると、『男性優遇（計）』は内閣府調査より16.7ポイント高く、「平等になっている」は内閣府調査より28.3ポイント低くなっている。(図2-18)

図2-18 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【(4) 町内会や自治会等の地域社会で】



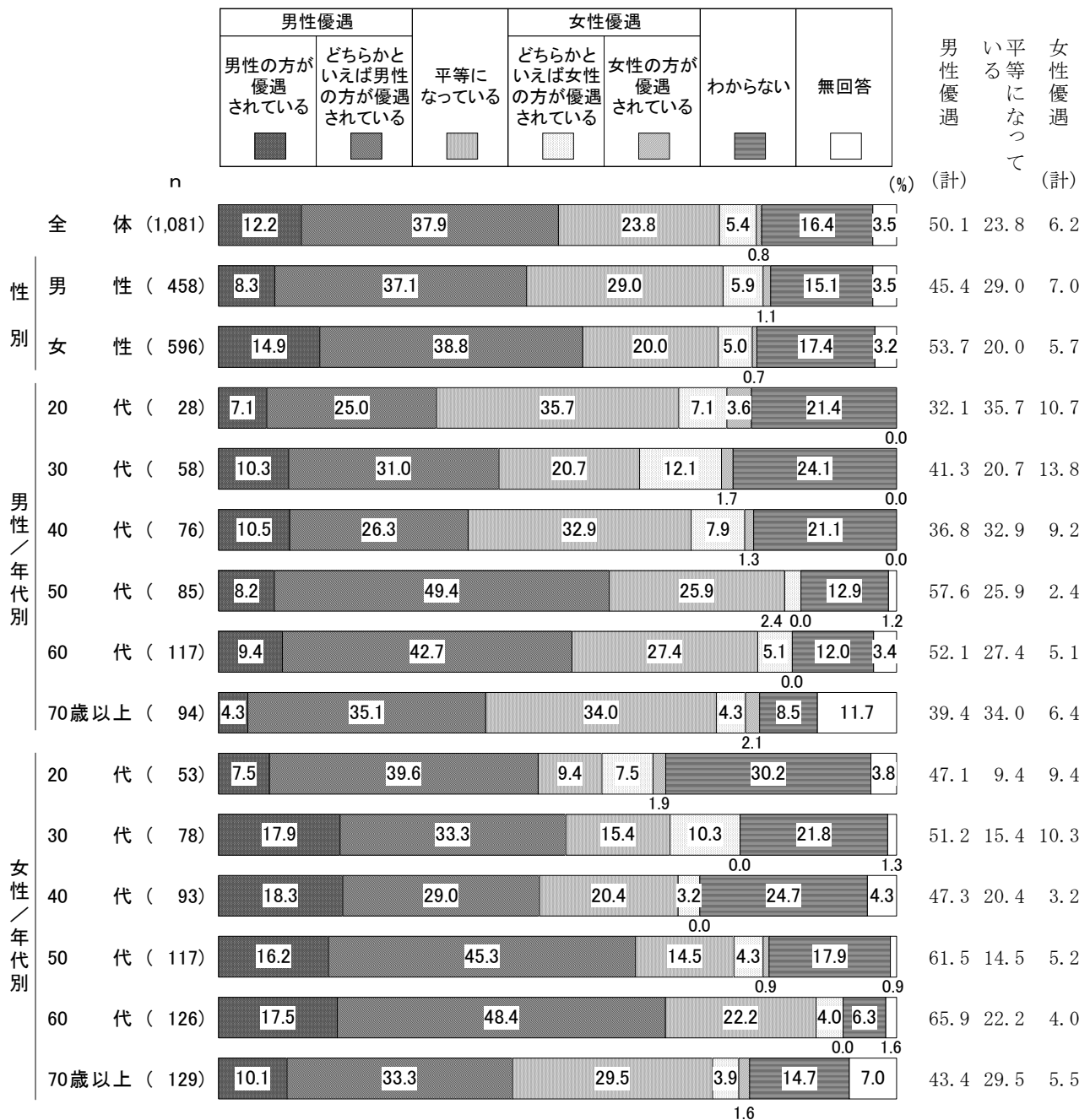
※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」(平成24年10月)

“町内会や自治会等の地域社会で”について性別で見ると、「平等になっている」は男性(29.0%)が女性(20.0%)より9.0ポイント高くなっている。一方、『男性優遇(計)』は女性(53.7%)が男性(45.4%)より8.3ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『男性優遇(計)』は女性の50代(61.5%)と60代(65.9%)、男性50代(57.6%)で高くなっている。「平等になっている」は男性の20代(35.7%)、40代(32.9%)、70歳以上(34.0%)で高くなっている。『女性優遇(計)』は男性30代(13.8%)で高くなっている。

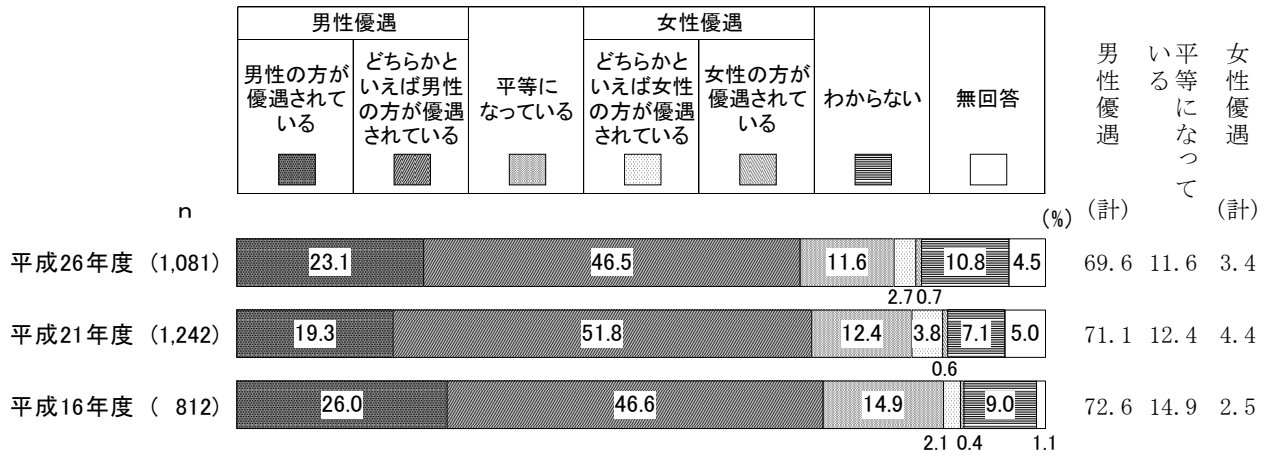
(図2-19)

図2-19 男女の地位の平等観(性・年代別)【(4) 町内会や自治会等の地域社会で】



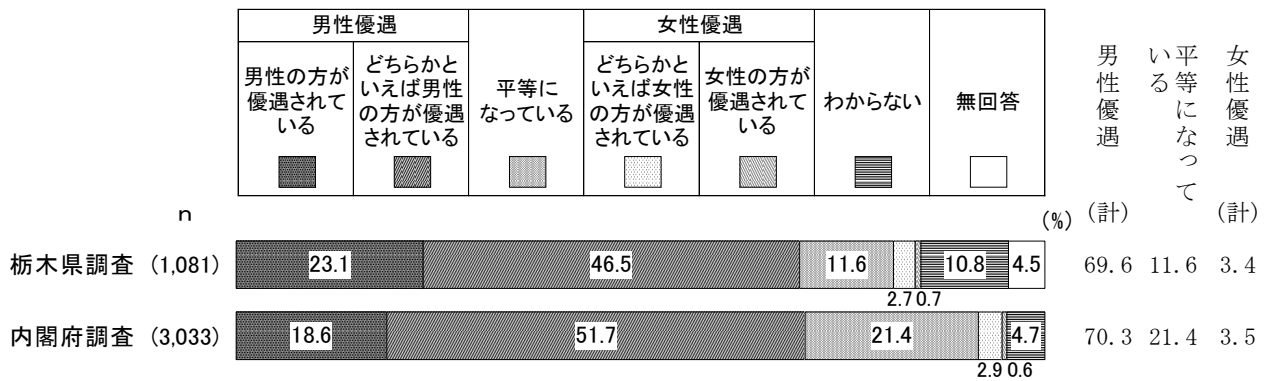
“社会通念・習慣・しきたりなどで”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』と「平等になっている」はともに平成16年度調査以降減少傾向にある。（図2-20）

図2-20 男女の地位の平等観（経年比較）【(5) 社会通念・習慣・しきたりなどで】



“社会通念・習慣・しきたりなどで”について内閣府調査と比較すると、「平等になっている」は内閣府調査より9.8ポイント低くなっている。（図2-21）

図2-21 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【(5) 社会通念・習慣・しきたりなどで】

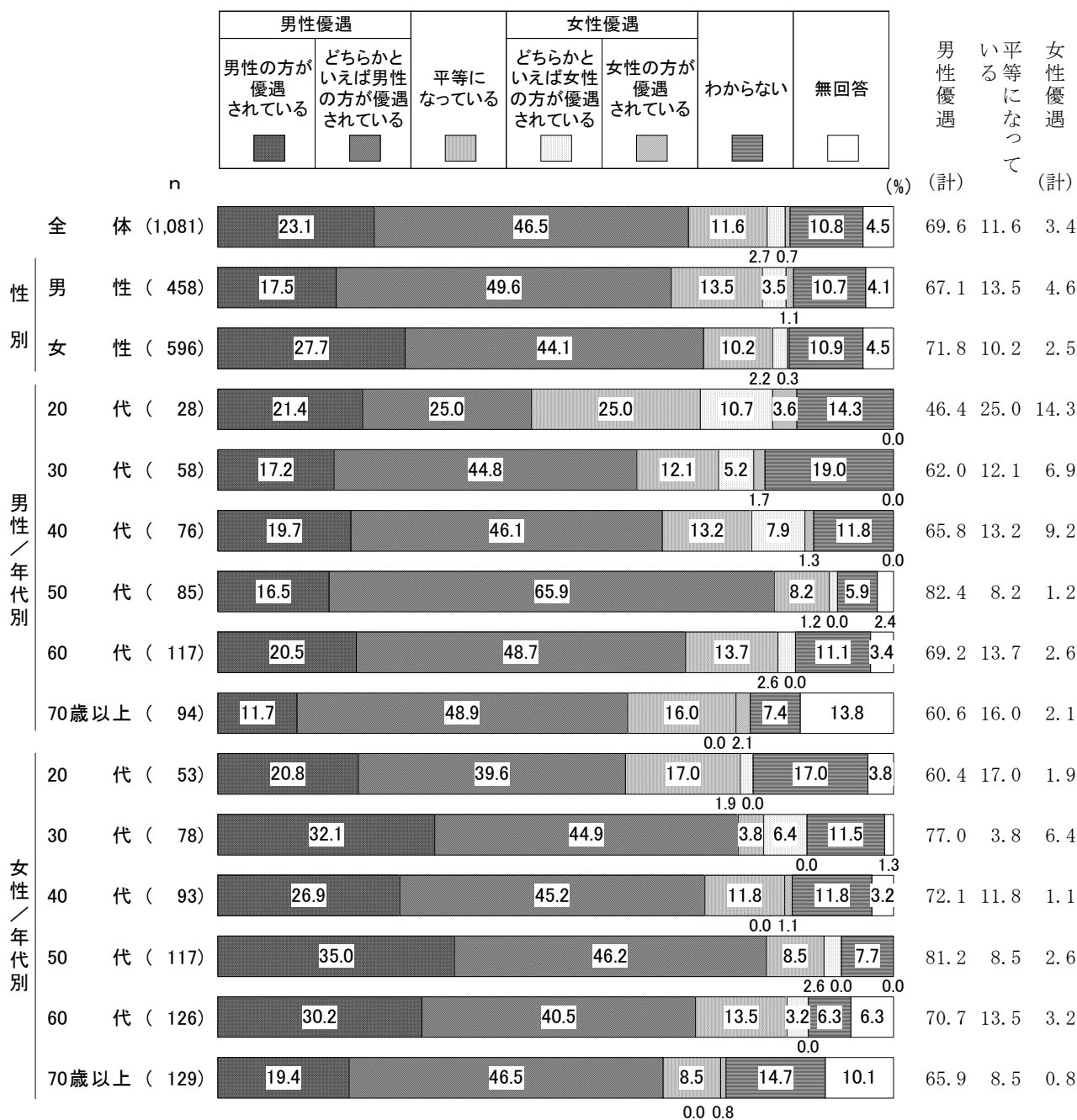


※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“社会通念・習慣・しきたりなどで”について性別で見ると、『男性優遇（計）』は女性（71.8%）が男性（67.1%）より4.7ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」は男性（13.5%）が女性（10.2%）より3.3ポイント高くなっている。

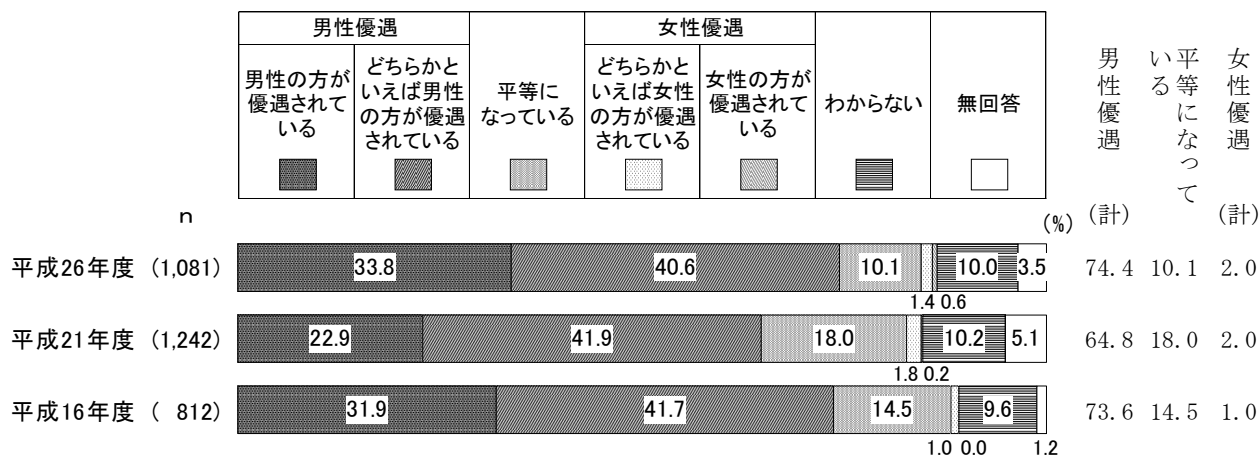
性・年代別で見ると、『男性優遇（計）』は男女ともに50代（男性82.4%・女性81.2%）で高くなっている。「平等になっている」は男性20代（25.0%）で高くなっている。『女性優遇（計）』は男性20代（14.3%）で高くなっている。（図2-22）

図2-22 男女の地位の平等観（性・年代別）【（5）社会通念・習慣・しきたりなどで】



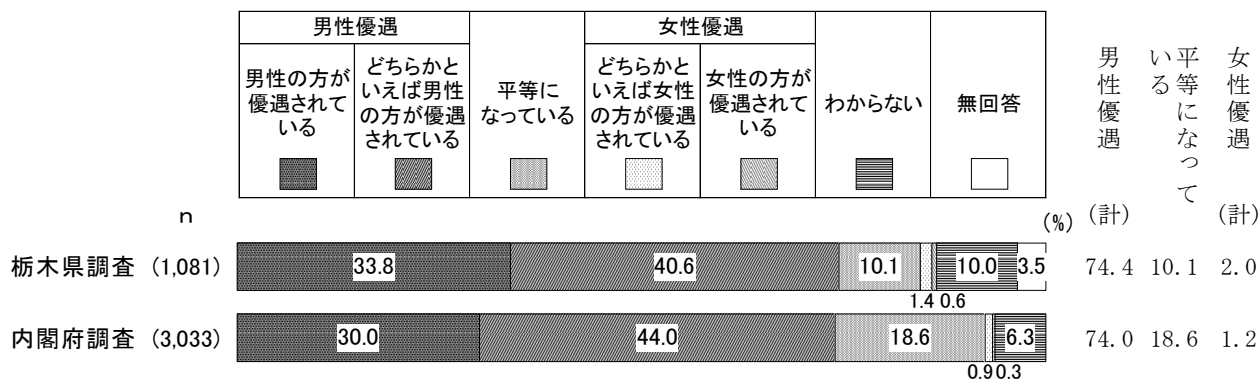
“政治の場で”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』は平成21年度調査より9.6ポイント増加、「平等になっている」は平成21年度調査より7.9ポイント減少している。（図2-23）

図2-23 男女の地位の平等観（経年比較）【（6）政治の場で】



“政治の場で”について内閣府調査と比較すると、「平等になっている」は内閣府調査より8.5ポイント低くなっている。（図2-24）

図2-24 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【（6）政治の場で】

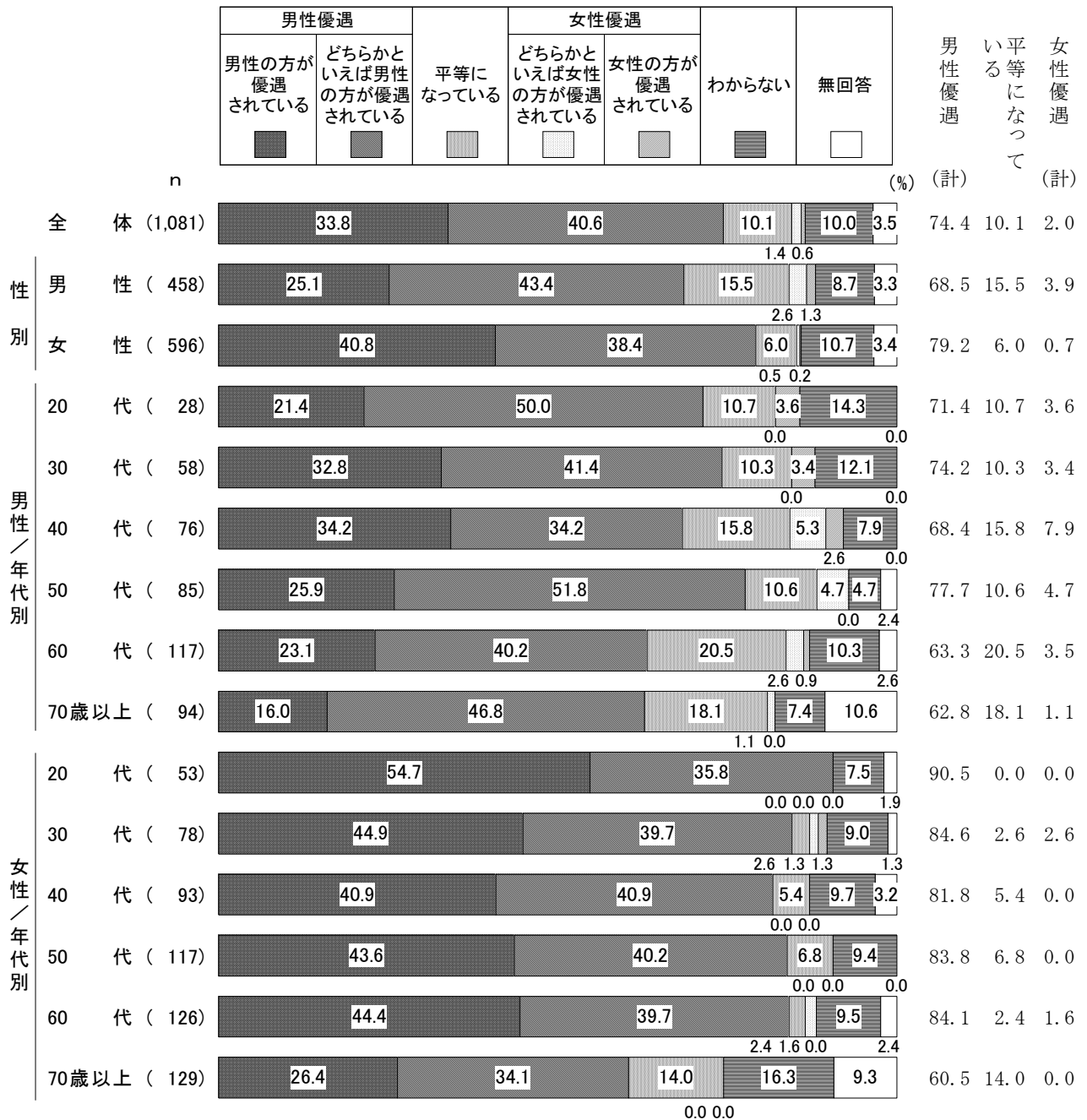


※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“政治の場で”について性別で見ると、『男性優遇（計）』は女性（79.2%）が男性（68.5%）より10.7ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」は男性（15.5%）が女性（6.0%）より9.5ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『男性優遇（計）』は女性20代（90.5%）で高くなっている。「平等になっている」は男性60代（20.5%）で高くなっている。（図2-25）

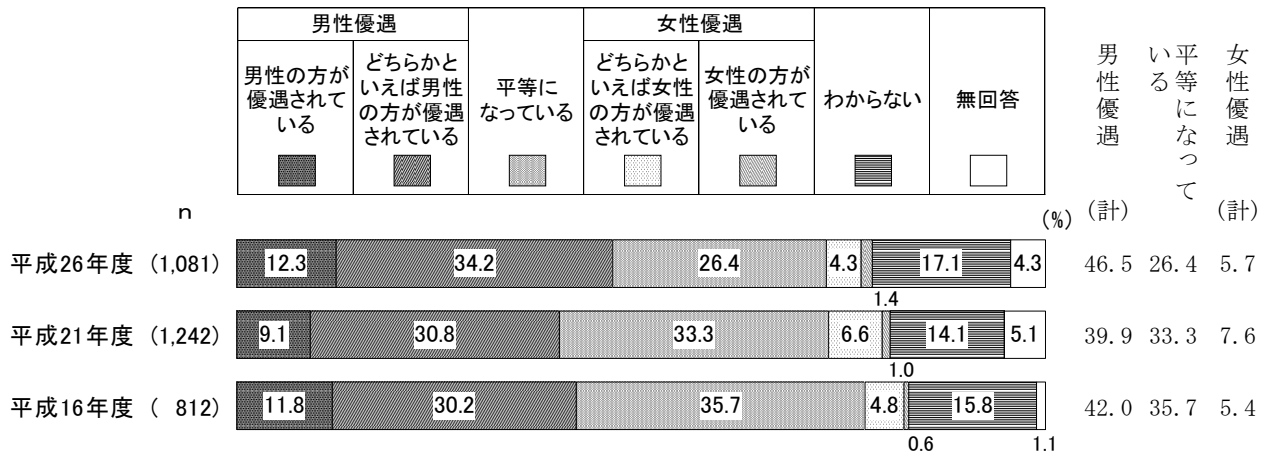
図2-25 男女の地位の平等観（性・年代別）【（6）政治の場で】



“法律や制度の上で”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』は平成21年度調査より6.6ポイント増加、「平等になっている」は平成21年度調査より6.9ポイント減少している。

(図2-26)

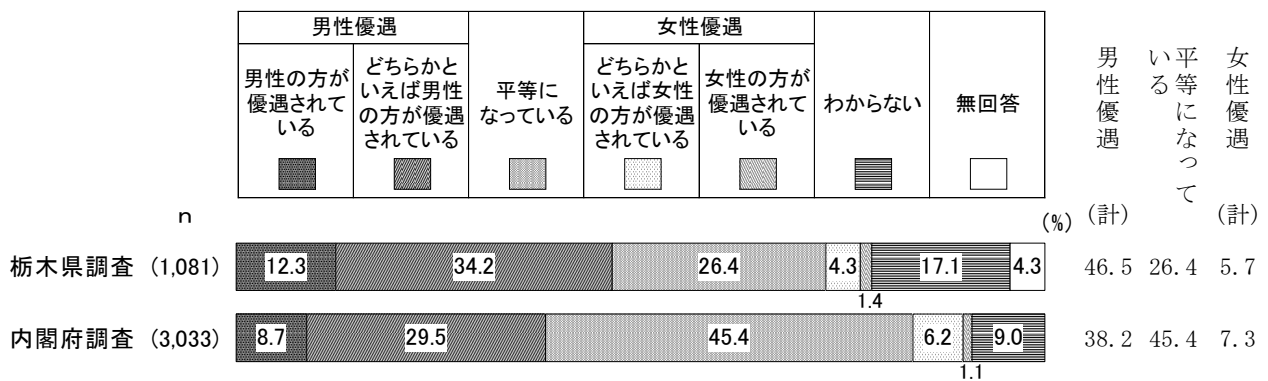
図2-26 男女の地位の平等観（経年比較）【(7) 法律や制度の上で】



“法律や制度の上で”について内閣府調査と比較すると、『男性優遇（計）』は内閣府調査より8.3ポイント高く、「平等になっている」は内閣府調査より19.0ポイント低くなっている。

(図2-27)

図2-27 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【(7) 法律や制度の上で】

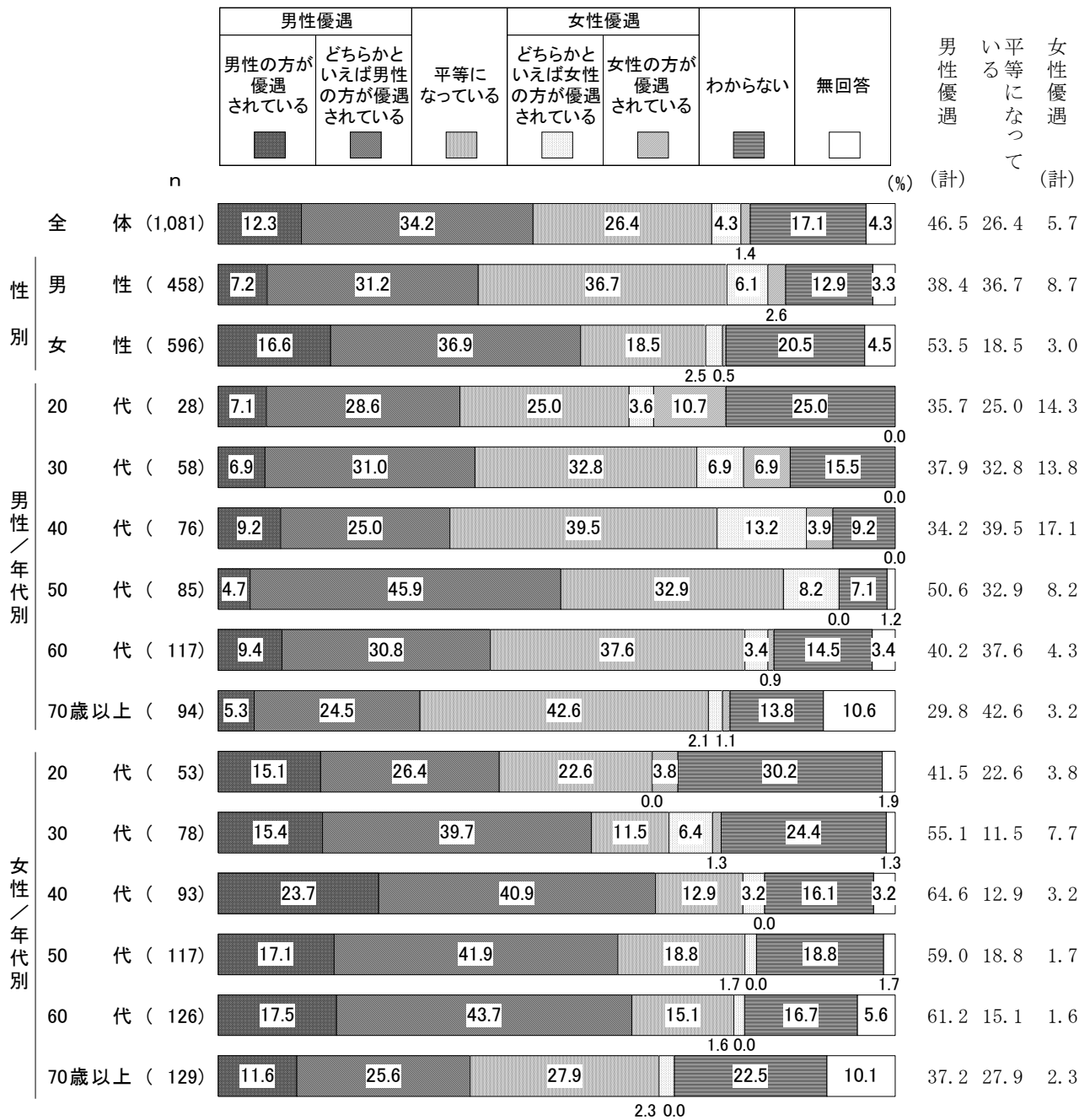


※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“法律や制度の上で”について性別で見ると、「平等になっている」は男性（36.7%）が女性（18.5%）より 18.2 ポイント高くなっている。一方、『男性優遇（計）』は女性（53.5%）が男性（38.4%）より 15.1 ポイント高くなっている。

性・年代別で見ると、『男性優遇（計）』は女性の 40 代（64.6%）と 60 代（61.2%）で高くなっている。「平等になっている」は男性 70 歳以上（42.6%）で高くなっている。『女性優遇（計）』は男性 40 代（17.1%）で高くなっている。（図 2-28）

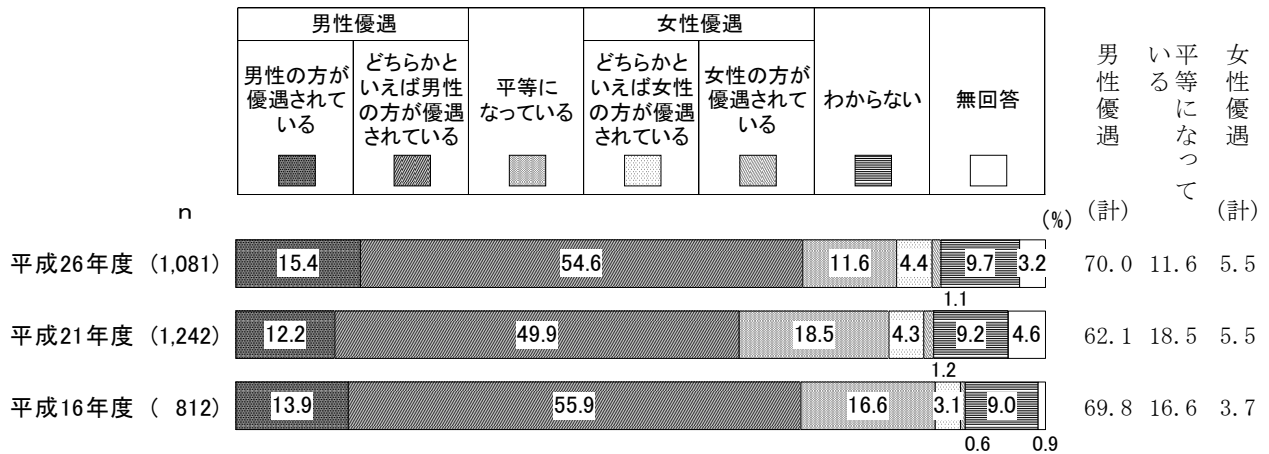
図 2-28 男女の地位の平等観（性・年代別）【（7）法律や制度の上で】



“社会全体の中で”について経年比較をみると、『男性優遇（計）』は平成21年度調査より7.9ポイント増加、「平等になっている」は平成21年度調査より6.9ポイント減少している。

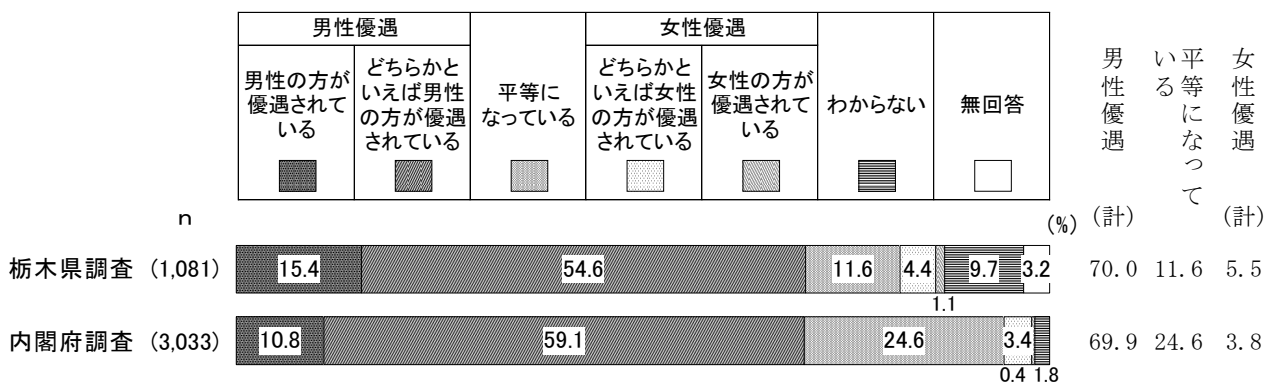
(図2-29)

図2-29 男女の地位の平等観（経年比較）【(8) 社会全体の中で】



“社会全体の中で”について内閣府調査と比較すると、「平等になっている」は内閣府調査より13.0ポイント低くなっている。(図2-30)

図2-30 男女の地位の平等観（内閣府調査との比較）【(8) 社会全体の中で】



※内閣府調査は、「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成24年10月）

“社会全体の中で”について性別でみると、『男性優遇（計）』は女性（75.0%）が男性（64.0%）より11.0ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」は男性（16.4%）が女性（8.1%）より8.3ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、『男性優遇（計）』は男女ともに50代（男性82.4%・女性83.8%）で高くなっている。「平等になっている」は男性70歳以上（22.3%）で高くなっている。『女性優遇（計）』は男性の20代（17.8%）と40代（19.8%）で高くなっている。（図2-31）

図2-31 男女の地位の平等観（性・年代別）【（8）社会全体の中で】

